

(仮称)町田市教育プラン2024-2028 重点事業(案)

(生涯学習関連分)

各シート「概要」の下線部は、現行プランからの継続及び発展事業の内、発展的な取組内容の箇所に引いています。

基本方針	基本方針Ⅰ 未来を切り拓くために生きる力を育む
施策	Ⅰ－施策5 学びのきっかけとなる機会を提供する

名称	まちだの歴史・文化を学ぶ機会の充実	属性	継続／発展			
		所管課	生涯学習総務課・図書館			
		対象	市民			
概要	<p>・町田市固有の歴史・文化資源を活用したアウトリーチ事業（学校、市民センター、子どもセンター等での講座や展示、各地域の歴史資源を活用したフィールドワーク等）を実施します。</p> <p>・町田市の歴史や文化について知り、学ぶことができるコンテンツを作成して公開します。</p> <p>・町田市の歴史や文化を知る専門家を小中学校にゲストティーチャーとして派遣するなど、子どもたちの学習活動への協力を行います。</p> <p>・アウトリーチ事業は、実施年度に効果を検証し、その検証結果を次年度の事業に反映・改善しながら実施していきます。</p>					
活動指標	指標		現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)		
	①アウトリーチ事業実施件数		26件	26件		
	②コンテンツ数		—	10件 (累計)		
	③町田ゆかりの作家/町田が登場する文学作品を知って貰うための事業の実施数		3件	6件		
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①アウトリーチ事業の実施	実施・検証	実施・検証	実施・検証	実施・検証	実施・検証
	②コンテンツの作成	2件	2件	2件	2件	2件
	③町田ゆかりの作家/町田が登場する文学作品を知って貰うための事業の実施数	3件	3件	4件	5件	6件

基本方針	基本方針Ⅰ 未来を切り拓くために生きる力を育む
施策	Ⅰ－施策5 学びのきっかけとなる機会を提供する

名称	“ことばの扉”推進事業	属性	継続／発展			
		所管課	図書館			
		対象	市民			
概要	<p>・子どもからお年寄りまで幅広い世代が、ことばや文字、文学の魅力に触れることができるように、近接するジャンルを幅広く取り込みながら、柔軟で多様な内容の展覧会・教育普及事業を実施します。</p> <p>・10代、20代を対象にした事業を充実させます。</p> <p>・お客様が多様な考え方や価値観に触れることで、新たな学びや自ら学ぶきっかけとなるよう事業を進めます。</p>					
活動指標	指標			現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)	
	①"新たな学び"や"学びのきっかけ"に繋がる展覧会の実施			未実施	検証を踏まえた実施	
	②若い世代（10代・20代）に向けた事業の実施			展覧会：1 教育普及事業：1	展覧会：1 教育普及事業：2	
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①"新たな学び"や"学びのきっかけ"に繋がる展覧会の実施	実施	検証を踏まえた実施	検証を踏まえた実施	検証を踏まえた実施	検証を踏まえた実施
	②若い世代（10代・20代）向け事業実施件数	展覧会：1 教育普及事業：1	展覧会：1 教育普及事業：1	展覧会：1 教育普及事業：1	展覧会：1 教育普及事業：2	展覧会：1 教育普及事業：2

基本方針	基本方針Ⅰ 未来を切り拓くために生きる力を育む
施策	Ⅰ－施策5 学びのきっかけとなる機会を提供する

名称	子ども読書活動の推進	属性	継続／発展			
		所管課	図書館			
		対象	児童生徒・保護者			
概要	<p>・読書活動の推進を図るため、「第五次町田市子ども読書活動推進計画（2025年度～2029年度）」を策定・推進。</p> <p>・子どもたちに読書に興味を持ってもらえるよう、おはなし会やブックトーク、年代にあわせたブックリストの発行に加え、読書のきっかけや図書館のことを知ってもらえる事業を行う。</p> <p>・「えいごのまちだ」に寄与すべく、外国語の絵本・児童書の収集について計画的に推進。また、電子書籍サービスに音声付き電子書籍「Read-Along」を入れ、文字と音声（ネイティブの読み上げ）でより楽しめるようにする。</p> <p>・不読率の高い高校生世代を中心に、若者自身に「子ども・若者が読書や図書館に興味をわくようなイベント」を企画(参画)してもらおう。</p> <p>・子どもたちを対象に絵本や児童文学などを題材にした展覧会・イベントを開催する。</p>					
活動指標	指標		現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)		
	①「第五次町田市子ども読書活動推進計画（2025年度～2029年度）」の策定		—	策定 (2024年度)		
	②若者の参画による読書普及イベント数		2件	3件		
	③絵本、児童文学、漫画を題材にした展覧会の実施		実施	実施		
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①読書活動推進計画の策定	検討・策定	事業の推進 進捗管理	事業の推進 進捗管理	事業の推進 進捗管理	事業の推進 進捗管理
	②若者の参画による読書普及イベント数	2件	2件	3件	3件	3件
	③絵本、児童文学、漫画を題材にした展覧会の実施	実施	実施	実施	実施	実施

基本方針	基本方針Ⅰ 未来を切り拓くために生きる力を育む
施策	Ⅰ－施策5 学びのきっかけとなる機会を提供する

名称	学びの入口の充実	属性	継続／発展			
		所管課	生涯学習センター			
		対象	市民			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・他部署との重複事業などを整理することで、生涯学習センターが担うべき機能や事業を見直します。 ・学びに出会う「きっかけづくり」に重点を置き、入門講座の充実をはかります。 ・「生涯学習支援にかかる機能」を担うため、リソースを再配分します。 ・全講座事業を4つの役割（「学びの裾野を広げる」「誰もが学べる環境をつくる」「学びを深め、活かす」「学びのネットワークづくりを促進する」）に体系化し再編したうえで、施策Ⅰ-5では「学びの裾野を広げる」分野の事業を実施します。 ・従来、利用の少ない若者層や働く世代向けの事業を、ニーズを把握し、検討、実施します。 					
活動指標	指標		現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)		
	①「学びの裾野を広げる」事業の実施		—	検証を踏まえた実施		
	②若者向け事業の実施		—	検証を踏まえた実施		
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①「学びの裾野を広げる」事業の実施	実施	実施・検証	検証を踏まえた実施	実施・検証	検証を踏まえた実施
	②若者向け事業の実施	若者からの意見聴取・事業の検討	実施	実施・検証	検証を踏まえた実施・検証	検証を踏まえた実施

基本方針	基本方針Ⅰ 未来を切り拓くために生きる力を育む
施策	Ⅰ－施策5 学びのきっかけとなる機会を提供する

名称	学びにつなげる図書館体験	属性	新規			
		所管課	図書館			
		対象	市民			
概要	<p>多くの人々に図書館サービスを体験してもらうため以下の取り組みを実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にあった図書館の利用方法を知ってもらうための講座等を実施します。 ・本との新しい出会いを作り出すため、移動図書館によるイベントへの出張運行や保育園・幼稚園への訪問活動を実施します。 ・暮らしの中で役に立つレファレンス事例を紹介するリーフレット等を作成し、レファレンスサービスを身近に感じることでサービスの利用につなげます。 					
活動指標	指標	現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)			
	①図書館講座・図書館員体験の実施回数	8回	8回			
	②移動図書館の出張運行回数（累計）	8件	52件 (累計)			
	③レファレンス件数（中央図書館）	4,047件	4,300件			
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①図書館講座・図書館員体験	8回	8回	8回	8回	8回
	②移動図書館の出張運行回数	8件	10件	10件	12件	12件
	③レファレンス件数	4,100件	4,100件	4,200件	4,200件	4,300件

基本方針	基本方針Ⅱ 一人ひとりの多様な学びを推進する
施策	Ⅱー施策3 誰もが学べる機会を提供する

名称	学びのセーフティネットの充実	属性	継続／発展			
		所管課	生涯学習センター			
		対象	市民			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者青年学級事業を実施します。 ・小・中学校程度の学力を身につけたい16歳以上の方向けに、学習支援事業「まなびテラス」を実施します。 ・急激に進むデジタル化に対応するため、デジタルデバインド対策事業を実施します。 ・障がい者青年学級事業及び学習支援事業の検証と持続可能な仕組みづくりを行います。 ・デジタルデバインド対策事業を更に拡充するために、これまでの事業の検証と実施方法の検討を行います。 					
活動指標	指標		現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)		
	①障がい者青年学級事業の検証と持続可能な仕組みへの再編		—	実施		
	②学習支援事業の検証と持続可能な仕組みへの再編		—	実施		
	③デジタルデバインドを解消するための事業		実施	実施		
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①障がい者青年学級の再編（2023年度検討会設置）	検証	検証	検証結果の反映準備	検証結果の反映	検証を踏まえた実施
	②学習支援事業の再編	検証	検証結果の反映	実施	実施・検証	検証を踏まえた実施
	③デジタルデバインドを解消するための事業の実施	事業の検証と活用講座の実施	事業の継続	事業の検証と実施方法の再検討	再検討を反映した事業の実施	発展実施

基本方針	基本方針Ⅱ 一人ひとりの多様な学びを推進する
施策	Ⅱ－施策3 誰もが学べる機会を提供する

名称	障がい者向けの多様なサービスの提供	属性	新規			
		所管課	図書館			
		対象	市民			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・読書バリアフリー法施行に基づき、以下の方法により、すべての人が自分の利用しやすい方法で読書ができるようサービスを提供します。 ・ボランティアの協力のもと、対面朗読、音訳資料や点訳資料の製作・貸出、資料の郵送貸出サービスなどにより視覚障がい者等へのサービスを進め、宅配等を通じて寝たきりなどで図書館への来館が困難な市民にサービスを行います。 ・展示等によりディスレクシア（識字障がい）等を含めた障がい者サービスのPRを行い、利用を促進します。 ・ボランティアの技術向上や、裾野を広げるための講座を開催します。 ・デージー（デジタル録音図書）再生機器の貸出や操作指導を通して利用を促進し、障がい者のデジタル資料の活用の範囲を広げます。 ・電子書籍の多様な機能を生かし、来館が困難な市民の読書を支援します。 					
活動指標	指標	現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)			
	①障がい者サービスPR展示等	実施	実施			
	②ボランティア養成講座の開催	1回実施	1回実施			
	③デージー再生機器貸出・操作指導	—	実施			
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①障がい者サービスPR展示等	実施・検証	実施・検証	実施・検証	実施・検証	実施・検証
	②ボランティア養成講座	1回	1回	1回	1回	1回
	③デージー再生機器貸出・操作指導 検討	検討	検討	実施	実施	実施

基本方針	基本方針Ⅲ 将来にわたり学ぶことができる環境を整備する
施策	Ⅲ－施策1 将来を見据えた多様な学びの環境を整備する

名称	学校図書館の機能強化	属性	継続／発展			
		所管課	教育総務課・指導課・図書館			
		対象	児童生徒・教員・市民			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き全校で学校図書館図書標準の達成を維持していきます。 ・学校図書館の運営を担う人材確保の方法を検討します。 ・市立図書館による団体貸出と学校図書館支援貸出を実施します。 ・市立図書館による学校図書指導員への研修協力を行います。 ・計画的な図書の廃棄、更新を進めていきます。 ・市立図書館の電子書籍サービスを学校の授業へ活用します。 					
活動指標	指標	現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)			
	①学校図書館図書標準達成校数	全62校	全62校			
	②学校図書館図書廃棄基準の策定	—	策定 (2024年度)			
	③学校図書更新比率の向上 (全国平均 小学校7%・中学校6.5%)	全国平均以上 23校 ※ 2021年度	全62校			
	④学校司書等の学校図書館の運営を担う人材確保	方法の検討	実施			
	⑤市立図書館の電子書籍サービスの学校授業への活用	—	全62校			
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①学校図書館図書標準達成校数	全62校	全62校	全62校	全62校	全62校
	②学校図書館図書廃棄基準の策定	策定	実施	実施	実施	実施
	③学校図書更新比率の向上 (全国平均以上)	23校	33校	43校	53校	全62校
	④学校司書等の学校図書館の運営を担う人材確保	方法の検討	方法の検討	方法の検討	方法の検討	実施
	⑤市立図書館の電子書籍サービスの学校授業への活用	方法の検討	方法の検討	方法の検討	方法の検討	実施

基本方針	基本方針Ⅲ 将来にわたり学ぶことができる環境を整備する
施策	Ⅲ－施策2 学び続けることができる環境を整備する

名称	生涯学習情報のデジタル化の推進及び学習相談体制の整備	属性	継続／発展			
		所管課	生涯学習センター			
		対象	市民			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習情報提供のデジタル化を推進します。 ・多様な主体が実施している生涯学習の情報を一元化し、生涯学習情報をデータベース化します。 ・データベース化した情報を活用し、コンシェルジュ的なきめ細かい学習相談を実施します。 ・学習相談コーディネーター制度の導入による生涯学習のハブ機能を強化します。 ・講座のデジタル配信、アーカイブ化の推進します。 ・デジタル化の推進における民間活力を導入します。 					
活動指標	指標		現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)		
	①実施講座をデジタル化した割合		5 (%) (2021年度)	10 (%)		
	②専門相談員の配置		—	配置		
	③学習相談コーディネーター制度の導入		—	導入		
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①実施講座のデジタル化及びアーカイブ作成	検討	外部委託・実施	実施・検証	検証を踏まえた実施	実施・検証
	①生涯学習NAVIのデジタル化	外部委託・実施	実施・検証	検証を踏まえた実施	実施・検証	検証を踏まえた実施
	③専門相談員の配置	配置	実施・検証	検証を踏まえた実施	実施・検証	検証を踏まえた実施
	④学習相談コーディネーター制度の導入	導入	実施・検証	検証を踏まえた実施	実施・検証	検証を踏まえた実施

基本方針	基本方針Ⅲ 将来にわたり学ぶことができる環境を整備する
施策	Ⅲ－施策2 学び続けることができる環境を整備する

名称	まちだの歴史・文化資源の保存と活用環境の整備	属性	継続／発展			
		所管課	生涯学習総務課			
		対象	市民			
概要	<p>・町田市の歴史を紹介するために、自由民権資料館・考古資料室・三輪の森ビジターセンターでの資料展示を実施するとともに、インターネット上で町田の歴史を紹介する「町田デジタルミュージアム」を公開します。</p> <p>・「町田デジタルミュージアム」の利用状況を検証し、公開内容の更新を図ります。</p> <p>・町田市の歴史を後世に伝えるため、新たな「町田市史」編さんの向けて、様々な課題を整理し準備を行い、重要史料群の整理を進めます。</p> <p>・町田市の歴史・文化資源を観光資源として活用するための取組を行います。取組は、実施年度に効果を検証し、その検証結果を次年度の取組に反映・改善しながら実施していきます。</p>					
活動指標	指標		現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)		
	①町田デジタルミュージアム更新数		4月公開	2回(累計)		
	②重要史料の整理率		47.5%	92.5%		
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①町田デジタルミュージアムの公開・検証・更新	公開・検証	更新	公開・検証	公開・検証	更新
	②重要史料の整理率	62.5%	70.0%	77.5%	85.0%	92.5%

基本方針	基本方針Ⅲ 将来にわたり学ぶことができる環境を整備する
施策	Ⅲ－施策2 学び続けることができる環境を整備する

名称	図書館再編と運営体制の構築				属性	新規
					所管課	図書館
					対象	市民
概要	<p>・サービス圏域が重複する図書館、老朽化した小規模図書館を主な対象として「建物の総量適正化・集約化」「複合化・多機能化」について検討を行います。同時に、図書館資源（人員・施設・蔵書等）の配分の最適化を図ります</p> <p>・また、さるびあ図書館と中央図書館の集約について、町田駅周辺の公共施設の再編や中心市街地の再開発の動きと連動し、最適な集約方法を検討します。</p>					
活動指標	指標				現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)
	①さるびあ図書館と中央図書館の集約				地域関係者へのヒアリング実施	集約方法の決定
	②中央図書館と地域館の運営体制の検討・構築				—	実施
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①さるびあ図書館と中央図書館の集約	関係者で構成する協議体における議論の展開。ワークショップの開催。地域関係者へのヒアリング	ワークショップの開催、協議体における「集約」の基本的な方向性やスケジュールなどに関する基本合意	集約方法の決定	集約作業	集約作業
	②中央図書館と地域館の運営体制の検討	運営体制の検討	運営体制の検討	運営体制の検討	検討結果による運営体制の実施	検討結果による運営体制の実施

基本方針	基本方針Ⅳ 地域と共に学ぶ力を高める
施策	Ⅳ－施策2 学校と地域が連携した学びを推進する

名称	学校施設利用制度の整備	属性	新規			
		所管課	生涯学習総務課、生涯学習センター、教育総務課、施設課、新たな学校づくり推進課、スポーツ振興課			
		対象	児童生徒、保護者、市民			
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の学校開放事業について、新たな学校施設利用制度を構築する中で見直しを行います。 ・利用申込をシステム化しつつ、児童・生徒を中心とした団体等に対する優先利用の仕組みを構築します。 ・利用できる環境を整備するだけでなく、地域スポーツクラブ等の民間事業者と連携した利用促進に向けた取り組みを実施します。 ・学校施設としてのセキュリティ確保のため、利用時の施設管理を委託化します。 					
活動指標	指標			現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)	
	①新たな学校施設利用制度を導入した学校			—	36校 (累計)	
	②セキュリティラインを整備した新設学校数			—	2校	
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①新たな学校施設利用制度の導入	導入準備	4校	12校	26校	36校
	②セキュリティラインを整備した新設学校数の開校	準備	設計・建設	設計・建設	設計・建設	2校

基本方針	基本方針Ⅳ 地域と共に学ぶ力を高める
施策	Ⅳ－施策3 地域での学びを推進する

名称	地域での学びの拡充				属性	継続／発展
					所管課	生涯学習センター
					対象	市民
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「まち★チャレ」、「市民大学」等の市民企画・参画型講座を整理し、市民公募など参画の仕組みを整え、拡充していきます。 ・社会的課題に関する学習の機会を提供していくことで、解消に向けた取組を支援します。 ・市民センター、図書館等を利用した講座のアウトリーチを推進します。 					
活動指標	指標				現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)
	①市民企画・参画型講座の見直し				—	実施
	②アウトリーチ事業の割合				14 (%) (2021年度)	20 (%)
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①市民大学事業の再構築	市民意見反映手法の見直し	市民意見を反映した事業の実施	実施・検証	検証を踏まえた実施	実施・検証
	①市民企画事業の再構築	選定基準等の見直し	新たな選定基準による事業の実施	実施・検証	検証を踏まえた実施	実施・検証
	②地域連携講座の新設	地域組織と連携した講座の実施	実施・検証・新たな連携先の開拓	検証を踏まえた実施・新たな連携先の開拓	実施・検証・新たな連携先の開拓	検証を踏まえた実施・新たな連携先の開拓
	②家庭教育支援事業の再編	事業全体の整理・地域開催の実施	新たな地域での事業実施・検証	検証を踏まえて新たな地域での実施	新たな地域での事業実施・検証	検証を踏まえて新たな地域での実施

基本方針	基本方針Ⅳ 地域と共に学ぶ力を高める
施策	Ⅳ－施策3 地域での学びを推進する

名称	ワタシが主役の図書館づくりの推進				属性	新規
					所管課	図書館
					対象	市民
概要	<p>・鶴川図書館を図書館再編をきっかけとして、目的や用事がなくても過ごせる地域の居場所をつくるため、行政が提供する図書館から転換し、地域が主体となりコミュニティ機能を併せ持った市民協働型の運営を目指す。市民協働型の運営とすることで、地域住民や認知症当事者、障がい者などの活躍の場を創出する。また、さるびあ図書館について、現在果たしている機能にも配慮した上で、地域住民とともに新たな姿を模索する。</p>					
活動指標	指標				現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)
	市民協働運営の施設数				—	1施設
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	市民協働運営の実施	図書機能の縮小、市民協働運営の開始	図書機能+コミュニティ機能の運営。自主運営に向けた準備	図書機能+コミュニティ機能を補助金への移行、予約資料受渡業務を委託	図書機能+コミュニティ機能の補助金交付、予約資料受渡業務を委託	図書機能+コミュニティ機能の補助金交付、予約資料受渡業務を委託

基本方針	基本方針Ⅳ 地域と共に学ぶ力を高める
施策	Ⅳ－施策3 地域での学びを推進する

名称	地域で活動するボランティアの育成・支援	属性	継続／発展			
		所管課	図書館			
		対象	市民			
概要	<p>・おはなし会などの本に関する活動がより活発に行われるよう、地域や学校で活動するボランティアを養成するとともに、ボランティアが行うおはなし会の開催を支援します。</p> <p>・点訳や音訳のボランティアの技術向上や、裾野を広げるための講座を開催します。【再掲】</p> <p>・ボランティアに対する新たな活動分野を構築し、当該分野における支援方法を確立します。</p>					
活動指標	指標			現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)	
	①市民向け絵本の読み聞かせ講座（基礎編、応用編、実践編）の開催回数			2回	3回	
	②ボランティア養成講座（おはなし会・障がい者サービス）の開催回数			1回	2回	
	③ボランティアスキルアップ研修の開催回数			3回	2回	
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①市民向け絵本の読み聞かせ講座	3回	3回	3回	3回	3回
	②おはなし会ボランティア養成講座	1回	1回	1回	1回	1回
	②障がい者サービスボランティア養成講座	1回	1回	1回	1回	1回
	③おはなし会ボランティアスキルアップ研修	2回	2回	2回	2回	2回

基本方針	基本方針Ⅳ 地域と共に学ぶ力を高める
施策	Ⅳ－施策3 地域での学びを推進する

名称	学びのネットワークづくりの促進	属性	新規			
		所管課	指導課・生涯学習センター			
		対象	児童生徒・保護者 教員・市民			
概要	<p>・各学校に設置する地域学校協働本部で蓄積される人材情報データと生涯学習の把握する人材データ相互に有効活用できるように支援していきます。</p> <p>【学校教育分野】</p> <p>・町田市内にある大学等の教育機関や企業と連携(大学教授による出前授業・学生派遣等)し、各学校がキャリア教育や科学技術教育等の中で、充実した教育活動が実施できるような人材を紹介・支援を行います。(例：各大学や企業の人材(教授等)が行うことができる授業をリスト化し、学校に情報提供します。)</p> <p>【生涯学習分野】</p> <p>・市全域の生涯学習の全体像を把握し、生涯学習情報の体系化を行い、関係機関とネットワークを構築し、ハブ機能を強化します。</p> <p>・生涯学習センターまつり、ガクマチEXPOなど、学習成果を発表する場を維持、拡充します。</p> <p>・講座修了生、修了生団体の活動を支援し、生涯学習ボランティア制度の利用を促進する。</p> <p>・社会人向けリカレント・リスキル学習情報へのアクセスを改善します。</p>					
活動指標	指標	現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)			
	①町田市教育委員会オリジナル人材バンク活用件数【再掲】	—	30件 (累計)			
	②町田市登録ボランティア(まちサポ等)を活用した教育活動の件数【再掲】	—	10件 (累計)			
	③町田市内の大学等の教育機関や企業と連携した教育活動の件数【再掲】	—	10件 (累計)			
	④リカレント・リスキル教育情報の整理・提供	—	実施			
工程表	項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	①町田市教育委員会オリジナル人材バンクの活用件数	検討・構築	5件	10件	15件	30件
	②町田市登録ボランティアを活用した教育活動の件数	1件	3件	5件	8件	10件
	③町田市内の大学等の教育機関や企業と連携した教育活動の件数	検討・構築	3件	5件	8件	10件
	④リカレント・リスキル教育情報の整理・提供	検討	実施	実施・検証	検証を踏まえた実施	実施・検証

今後の策定スケジュール

年度	月	内容
2022 年度	2 月	教育委員会定例会（骨子確定）
	3 月	市議会行政報告（骨子確定）
2023 年度	4 月	生涯学習審議会（原案について）
	5 月	アドバイザーへ原案提示
	6 月	教育委員会協議会（原案について）
	8 月	経営会議（施策体系・指標の決定）
		教育委員会定例会（原案決定）
		総合教育会議（教育大綱について）
	9 月	市議会行政報告 （原案・パブリックコメントの実施について）
		パブリックコメントの実施
	11 月	教育委員会協議会 （パブリックコメント実施結果について）
		市議会行政報告 （パブリックコメント実施結果について）
	1 月	教育委員会協議会（教育プラン案について）
		総合教育会議（教育大綱について）
	2 月	教育委員会定例会（教育プラン確定）
3 月	教育大綱確定	
	市議会行政報告（教育プラン確定）	